

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 067	提案機関名 JA かながわ西湘 営農部指導課
<b>要望問題名</b> ミニトウガンの収量安定化と秀品安定生産について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 当JAは昨年からミニトウガンの共販出荷を開始したが、現在苗によってかなりの収量のばらつきが存在する。そこで安定した収量の確保、栽培技術の確立のために試験を要望したい。 ・ 剪定による収量の確保について。ツルを実がつく1ヶ月ほど前に半分に切ることによって収量が確保できるという剪定技術の効果があるのか試験をお願いしたい。 ・ ミニトウガンの秀品栽培のためにはパイプハウスでの吊るし等が考えられるが、施設や手間を考えると現実的な方法ではない。そこで、簡易なミニトウガンの秀品栽培方法の確立をお願いしたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> 農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 <input type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
備 考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	野菜作物研究部
対応区分	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可		
試験研究課題名	( 、 、 の場合) 小型トウガンの収穫適期・貯蔵調査		
対応の内容等	当部では地産地消に適した新品種の導入を目指し、野菜類の特性検定試験に取り組んでいます。小型トウガンについても、果実の生長と品質を調査することにより、収穫適期について調査を行っているところです。結果が得られた段階で、情報として提供します。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内		
備 考			